



大地震に備えて避難行動訓練

本会議中、全国一斉緊急地震速報の訓練放送にあわせた避難行動訓練と避難経路の確認を行いました。皆さんも日頃から大地震などの非常時を想定した備えを行いましょう。

主な内容

議長・副議長就任あいさつ	2
委員会報告	3
第3回臨時会	4
第4回定例会	6
町政Q & A 一般質問	8
議会活動	15
これが知りたい!!	16



平成30年7月 津保川の濁流の様子(大山橋)

全国各地で大雨による災害が発生しています。
被災された地域の皆さまに心よりお見舞い申し上げます。

議長就任あいさつ

議長 渡邊 圭太



去る5月12日の町議会臨時会におきまして、議員各位の推挙をいただき富加町議会議長の重責を務めさせていただくことになりました。未熟ではございますが誠心誠意務めさせていただきます。皆様のご指導ご協力をお願い申し上げます。

町民の皆様におかれましては、新型コロナウイルス感染症の拡大防止に多大なるご理解とご協力をいただき心より感謝とお礼を申し上げます。ワクチン接種が始まりましたが、その終息がいつになるかわからない今、これまで以上に町長をはじめとする執行部と対話を重ね、町民の声を集めて富加町の将来の展望を拓くための協議を重ねなければなりません。そして町民の皆様にも一致団結してこの困難を克服するために更なるお願いを申し上げなければなりません。また、人口増加のための地方活性化対策、防災対策、少子高齢化対策など地方自治体に課せられた課題は山積しており、議会が果たさなければならない責任は、今後も益々大きくなってまいります。この令和という新しい時代、町議会では、これまで以上に町民の皆様の声に耳を傾け、町民の立場に立った町政運営が図られるよう一層の努力をしております。

また、町議会を身近に感じていただけるよう、自らが透明性を高め、町民の皆様が身近に感じる健全で分かりやすい議会となるため、公平・公正な議会運営を図り、更なる開かれた議会、行動する議会を目指して議会改革を進めてまいります。

最後になりましたが、今後も町議会へのご理解とご支援ご協力をお願いするとともに町民皆様のご健康とご多幸をお祈り申し上げまして議長就任のご挨拶と致します。

副議長就任あいさつ

副議長 川崎 伸泰



町民の皆様には、日頃より議会活動、並びに町政各般に対しご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

この度、5月12日の町議会臨時会におきまして、議員各位のご推挙を賜り、副議長の重職に就任させていただく事となりました。もとより浅学・微力ではございますが、議長を補佐し、公正かつ円滑な議会運営を目指していきたいと思っております。

未だ、新型コロナウイルス感染症の終息の兆しが見えない中、多様なご意見の代弁者として議論を重ね「みんなで創る・誰もが住みよい・ちょうどいいまち・とみか」の実現のため、活動してまいります。

今後も、尚一層のご指導ご協力をお願い申し上げます、就任のご挨拶とさせていただきます。

委員会報告

総務産業建設常任委員会

道の駅拡充整備に伴う官民連携手法の実現性調査委託料などを含む、令和3年度一般会計補正予算案を可決すべきものと決定

委員長/佐曾利議員 委員/木村議員、渡邊議員、福田議員

主に町の総務課、産業環境課、建設課などの事項を所管する総務産業建設委員会は、6月11日に会議を開き、6月議会に上程された予算案件、町道の廃止や認定等の各事業についての審議を行いました。

道の駅については、令和2年度に「道の駅施設拡充基本構想」が策定されており、今年度は国の補助金内示を受け、施設の運営や拡充整備に伴う官民連携手法の実現性調査の委託料1,364万円を補正予算に計上したことについて、町執行部から説明がありました。現在の指定管理者による運営から、PFIなどの民間活力を導入した場合の施設整備や経営面などを含めた、道の駅の将来像について、意見や質疑がありました。



施設の拡充整備を模索する道の駅(羽生地内)

道路改良関係では、高畑地内の町道稲荷・北野線の改良に伴う計画事業について、既存の町道稲荷・北野線を含む3路線を一旦廃止し、新たに5路線を認定することの説明がありました。計画事業については、道路形態や交通量、安全面を考慮し関係機関との協議や地元への説明により計画的な進捗を望む意見や質疑がありました。

慎重な審議の結果、原案のとおり可決すべきものと決定しました。

その他、所管する予算案件等について協議し、原案のとおり可決すべきものと決定しました。

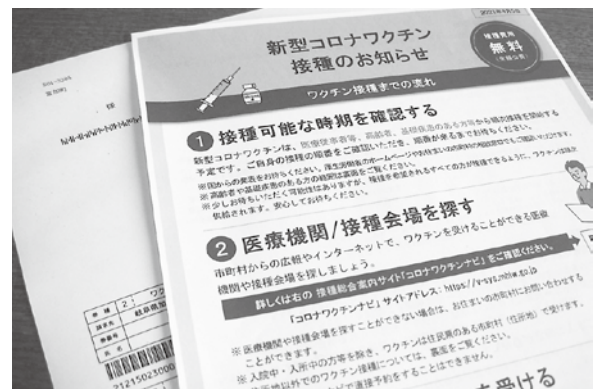
文教厚生常任委員会

新型コロナワクチン接種関連経費など専決処分した一般会計補正予算案を承認すべきものと決定

委員長/山田議員 委員/梅村議員、川崎議員、井戸議員

町の住民課、福祉保健課、教育課の事項を所管する文教厚生委員会は、6月15日に会議を開き、6月議会に上程された予算案件、条例案件等について審議を行いました。

新型コロナワクチン接種については、医療従事者や高齢者への接種が5月上旬から行われており、令和3年度一般会計補正予算(第3号)では、接種業務や予約システムなどの委託業務を含む経費1,330万円が専決処分されました。



順次発送されている
新型コロナウイルスワクチン接種券とのお知らせ

また、同じく新型コロナ関連経費では、美濃加茂市と加茂郡町村(八百津町を除く)の連携事業として医療従事者に1人1万円の商品券を交付する医療従事者慰労事業190万円や、令和3年度に出生した新生児1人につき10万円を支給する臨時給付金事業400万円などが計上されました。いずれも国の新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用した経済対策として行われるものです。委員からは町執行部に対し、医療従事者慰労事業での広域連携事業の進め方や事業内容の変更の周知について適切に対応することを求めました。

その他の所管する予算案件、条例案件等は、いずれも原案のとおり可決すべきものと決定しました。



第3回 臨時会

新型コロナウイルスワクチン接種事業など一般会計

およそ3,000万円の補正を承認

令和3年5月12日に町議会臨時会が開催され、専決処分の承認や工事請負変更契約の議案の議決、議長・副議長選挙などを行いました。

議会の動き

5月臨時会では、「令和2年度富加町一般会計補正予算(第15号)」などの専決処分の承認案件5件が町長から報告されたほか、「工事請負変更契約の締結」の議案1件について原案のとおり可決しました。

また、議長・副議長選挙が行われたほか、議会の委員会構成が決まりました。

会期は1日間 開会5月12日 閉会5月12日

5月12日(水)	本会議 開会、議案上程・説明 質疑、討論、採決、閉会
	全員協議会 議案の詳細説明、質疑等

議会の構成

議長 渡邊 圭太
副議長 川崎 伸泰

総務産業建設常任委員会

委員長 佐曾利 敏
副委員長 木村 康夫
委員 渡邊 圭太
委員 福田 定道

文教厚生常任委員会

委員長 山田 直行
副委員長 梅村 登次
委員 川崎 伸泰
委員 井戸 亨

議会運営委員会

委員長 井戸 亨
副委員長 川崎 伸泰
委員 山田 直行
委員 佐曾利 敏

美濃加茂市・富加町 中学校組合議会議員

山田 直行 渡邊 圭太
川崎 伸泰 井戸 亨
佐曾利 敏

監査委員(議会議員選任)

福田 定道



専決処分



令和2年度 一般会計補正予算(第15号)

補正額 400万円 総額 38億2,716万8千円

ポイント ふるさと納税寄付金の返礼品等の経費を追加。財源はふるさと納税寄付金が充てられました。(令和3年3月31日専決)

令和3年度 一般会計補正予算(第1号)

補正額 2,733万2千円 総額 30億933万2千円

ポイント 新型コロナワクチン接種事業の件費や業務委託費を追加。財源は国の交付金が充てられました。(令和3年4月1日専決)

令和3年度 一般会計補正予算(第2号)

補正額 22万3千円 総額 30億955万5千円

ポイント 新型コロナワクチン接種事業で使用する冷凍庫の非常用電源設置工事費を追加。財源は国の交付金が充てられました。(令和3年4月23日専決)

富加町会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部改正

ポイント 新型コロナワクチン接種事業で看護師等の確保に必要な給料額基準を改定。(令和3年4月1日専決)

富加町税条例等の一部改正

ポイント 地方税法等の一部改正により、固定資産課税標準額の据え置き、軽自動車税の税率区分見直し、住宅ローン控除の拡充・延長を規定。(令和3年4月1日専決)

「専決処分」って何？

町長が予算や条例などを議会の議決を経ずに、自ら決めることです。緊急を要するなどやむを得ない場合に決定できることが、地方自治法で定められています。

その他

■工事名 町道西組木船線歩道整備工事(その2)



大山地内

契約金額

変更前 6,007万8,700円
変更後 6,067万8,200円

工事請負変更契約の締結

ポイント 工事施工箇所の雨水流入対策などの追加工事分を増額。

審議の結果

令和3年第3回富加町議会臨時会

件名	結果	賛成	反対	山田直行	渡邊圭太	木村康夫	福田定道	川崎伸泰	梅村登次	井戸亨	佐曾利敏
承認第5号 専決処分の承認を求めることについて 令和2年度富加町一般会計補正予算(第15号)	承認	7	0	○	○	○	○	○		○	○
承認第6号 専決処分の承認を求めることについて 富加町会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する 条例の一部を改正する条例	承認	7	0	○	○	○	○	○		○	○
承認第7号 専決処分の承認を求めることについて 富加町税条例等の一部を改正する条例	承認	7	0	○	○	○	○	○	議長	○	○
承認第8号 専決処分の承認を求めることについて 令和3年度富加町一般会計補正予算(第1号)	承認	7	0	○	○	○	○	○		○	○
承認第9号 専決処分の承認を求めることについて 令和3年度富加町一般会計補正予算(第2号)	承認	7	0	○	○	○	○	○		○	○
議案第18号 工事請負変更契約の締結について	原案可決	7	0	○	○	○	○	○		○	○

○賛成 ×反対 ※議長は採決に加わりません。

令和3年



第4回 定例会

新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金事業など
一般会計補正を可決

さらなる感染防止・経済対策の実施へ

令和3年6月9日から6月定例会が開催され、令和3年度富加町一般会計補正予算(第4号)などの議案を議決しました。

議会の動き

6月定例会では、「富加町固定資産評価審査委員会の委員の選任」に同意し、町長から報告された「令和3年度富加町一般会計補正予算(第3号)の専決処分についての承認案件1件を承認しました。また、「富加町国民健康保険税条例の一部を改正する条例」など条例案件3件、「町道路線の廃止」及び「町道路線の認定」、予算案件2件が提案され、すべての議案について原案のとおり可決しました。

その他、令和2年度富加町一般会計繰越明許費繰越計算書について報告がありました。

会期は9日間 開会6月9日 閉会6月17日

6月9日(水)	本会議 開会、議案上程・説明、採決 全員協議会 議案の詳細説明、質疑等
6月11日(金)	総務産業建設常任委員会
6月15日(火)	文教厚生常任委員会
6月16日(水)	全員協議会 議案の詳細説明、質疑等
6月17日(木)	本会議 一般質問、質疑、討論、採決、閉会

全会一致で同意

富加町固定資産評価審査委員に杉島公典 氏(井高)を選任することに同意しました。
〔任期3年：令和3年6月18日～令和6年6月17日〕



杉島 公典 さん

専決処分

令和3年度
一般会計補正予算(第3号)

補正額 1,330万9千円 総額 30億2,286万4千円

ポイント 新型コロナウイルスワクチン接種事業を迅速に進めるための業務委託費などを追加。財源は国からの交付金が充てられました。
(令和3年5月17日専決)



条例の一部改正

富加町国民健康保険税条例の一部改正

ポイント 新型コロナウイルス感染症の影響による国民健康保険料の減免期間の延長について規定。

富加町国民健康保険条例の一部改正

ポイント 新型コロナウイルス感染症に関する定義規定に伴う所要の改正。

富加町介護保険条例の一部改正

ポイント 新型コロナウイルス感染症の影響による介護保険料の減免期間の延長について規定。

その他

町道路線の廃止

ポイント 町道稲荷・北野線の道路改良工事に伴い、高畑地内の町道3路線を一旦廃止。

町道路線の認定

ポイント 町道稲荷・北野線の道路改良工事に伴い、高畑地内の町道5路線を認定。

補正予算

令和3年度 一般会計補正予算(第4号)

補正額 6,121万1千円 総額 30億8,407万5千円

ポイント 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用した医療施設等慰労事業390万円などの7事業2,039万1千円を追加。財源は国からの交付金が充てられました。その他、道の駅の拡充整備に伴う官民連携手法の実現性調査委託事業費1,364万円を追加。財源は、国の交付金が充てられました。

令和3年度 水道事業会計補正予算(第1号) (資本的収支)

補正額 1,087万1千円 総額 1億797万9千円

ポイント 滝田、羽生地内の耐震配水管の更新工事などを行うための補正。財源は国からの補助金などが充てられました。

報告

令和2年度 一般会計繰越明許費繰越計算書

ポイント 次の総務費等5事業、総額8,226万4千円が令和3年度に繰り越されました。

- ・ 戸籍附票システム改修業務 489万1千円
- ・ 戸籍情報システム改修業務 149万6千円
- ・ 岐阜県新型コロナウイルス感染症拡大防止協力金負担金事業 207万7千円
- ・ 川浦川左岸線道路整備事業 3,000万円
- ・ 西組木船線歩道整備事業 4,380万円

「繰越明許費」とは?

事情により年度内に支出が終わらない見込みのある町の事業について、議会の議決を得て、翌年度に限り繰り越して使用できるようにする予算をいいます。

審議の結果

令和3年第4回富加町議会定例会

件名	結果	賛成	反対	山田直行	渡邊圭太	木村康夫	福田定道	川崎伸泰	梅村登次	井戸亨	佐曾利敏
同意第2号	富加町固定資産評価審査委員会の委員の選任につき同意を求めることについて	7	0	○		○	○	○	○	○	○
承認第10号	専決処分の承認を求めることについて 令和3年度富加町一般会計補正予算(第3号)	7	0	○		○	○	○	○	○	○
議案第20号	富加町国民健康保険税条例の一部を改正する条例	7	0	○	議長	○	○	○	○	○	○
議案第21号	富加町国民健康保険条例の一部を改正する条例	7	0	○		○	○	○	○	○	○
議案第22号	富加町介護保険条例の一部を改正する条例	7	0	○		○	○	○	○	○	○
議案第23号	町道路線の廃止について	7	0	○		○	○	○	○	○	○
議案第24号	町道路線の認定について	7	0	○		○	○	○	○	○	○
議案第25号	令和3年度富加町一般会計補正予算(第4号)	4	2	○		○	×	○	棄	×	○
議案第26号	令和3年度富加町水道事業会計補正予算(第1号)	7	0	○		○	○	○	○	○	○

○賛成 ×反対 棄)棄権 ※議長は採決に加わりません。

一般質問

町政

Q & A

一般質問は、議員が町政全般について現状や方針を問うものです。
6月定例会では、5人の議員が12件の質問を行いました。
掲載の内容は、質問及び答弁を要約したものです。

富加町議会では、議員1人あたりの持ち時間は60分です。
「一括」または「一問一答」から質問方式を選択し、議長の許可を得て質問します。



QRコードからは
議会録画映像を
ご覧いただけます。

*映像の公開には、一定の期間を要することがあります。

一問一答 コロナ対策について

井戸 亨 議員



Q PCR検査はどうしたら受けられますか。
また、教育施設など町内広範囲に実施するべきではないですか。

A 【川崎 福祉保健課長】
PCR検査は、発熱等の症状がある場合、医療機関又は保健所の相談センターに相談し、検査が必要と判断されれば無料で受けることができます。接触者でもなく症状がない場合は、自費検査となり18,000円前後の費用が必要となります。

今年の3月以降、県で行っている市中モニタリング検査や高齢者施設等の予防的検査なども実施されており、現状ではPCR検査を町内で実施する必要性や緊急性は低いものと考えています。

Q 余ったワクチンをどのように活用するのですか。

A 【川崎 福祉保健課長】
国からの指示により優先接種は、医療従事者、高齢者施設等の入所者や従事者、65歳以上の高齢者の方とされています。町では、キャンセルによる余剰ワクチンは、キャンセルされた高齢者の

方の再接種を最優先にしながら、ワクチン接種の業務に携わる職員を順次接種するようにしています。町民の方の理解が得られるよう事前にホームページ等で公表していく予定です。

Q 接種予約を運転免許更新時の通知のように町主導にしてはどうか。
また、大規模集団接種は行いますか。

A 【川崎 福祉保健課長】
高齢者の方への接種を早期に行い、予約を混乱なくスムーズに行うため、予約開始日を日曜日としました。今後、64歳以下の一般接種の受付は、web予約の導入も予定しており、電話がつかないというケースも少なくなると思われ、町から日時を指定して接種することは、今のところ予定していません。

また、大規模接種は人口規模の小さい町村では、予約受付の分けや、会場運営にかかるスタッフの確保が困難であり、可茂圏域では検討が進んでいません。今後、広域接種会場として県が中心となって運営していただく形となれば検討していきたいと考えています。

Q 平均的な家庭における水道料金（上水道料金と下水道料金）は、いくらですか。隣の関市に比べ水道料金が高く、大きな差があるのはなぜですか。

A **【板津 町長】**
一般家庭の月当たり平均使用水量が、約20㎡とされており、この水量での町の水道料金は3,729円、下水道料金は3,410円です。関市では、水道料金は1,716円、下水道料金は2,365円です。
水道料金の差は、水道水源の種類や水利権等の条件、水道施設設備の建設費用のほか、人口密度など様々な要因が挙げられると思われます。

Q 大幅な引き下げは本当に無理ですか。

A **【板津 町長】**
町は、独自の水源を持たず、県から水道水を購入しています。また、老朽化した水道配水管の更新工事を継続して実施しており、経営状況は大変厳しく、町の一般会計からの補填に頼らざるを得ない状況です。平成29年度に策定した水道事業ビ

ジョンでは、独立採算制の観点から、本来であれば値上げを検討し実施すべきところであり現状を維持することが精一杯な状況です。

なお、全国の人口規模が同等の類似団体と比較すると、類似団体の平均が4,483円に対し町は3,729円で、町の水道料金が突出した金額ではないこともご理解をお願いしたいと思います。

Q 町の裁量で決めることができる下水道料金を下げることで、水道料金の大幅な引き下げは可能ではないですか。

A **【板津 町長】**
下水道事業も地方公営企業法に基づき、健全運営を目指していますが、料金回収率は100%に達しておらず、今後は下水管路等の更新も必要となることが予測されます。厳しい経営状況に変わりなく、平成28年度に策定した経営戦略においても、令和7年度までの計画期間内に料金改定を実施する予定はないとしています。大幅な料金の引き下げは、町の一般会計からの補填が財政を圧迫することにつながることを明確であり、ご理解をお願いしたいと思います。

Q これまでに基地局の設置にあたり、近隣住民から事前説明を要望されたことはありますか。

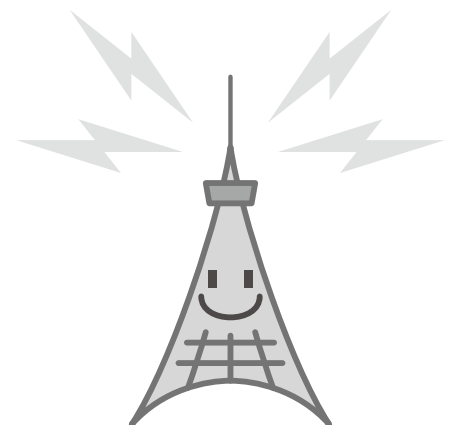
A **【澤野 建設課長】**
承知している限りでは、過去に町民の方から、説明を求められたことはありません。

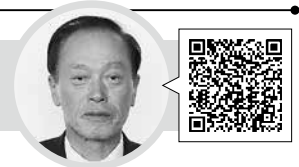
Q 基地局設置にあたり、地域住民の不安を解消する場が必要と考えますが、町として対応する考えはありますか。

A **【澤野 建設課長】**
町では、携帯電話基地局の設置事業については、該当する指導要綱がなく、指導は行っておりませんが、どの事業にあっても事業者から相談や問い合わせ等がある場合には、近隣住民への十分な周知をお願いしているところです。

また、基地局の設置について、発信される電波による人体への影響を心配される方もおられるかもしれませんが、電波事業を所管する総務省は、国民の健康を守るために「電波防護指針」を定めており、人体に影響を与えない基準値以下に電波の出力を抑える規制を設けています。

また、WHO（世界保健機関）は、日本で定めた基準値以下の電波であれば、「健康への明らかな重大な影響はない」との見解も示しており、現在のところ指導要綱を策定する予定はありません。ご理解をお願いします。





Q コロナ禍による影響が懸念されますが、令和2年度町税の収納状況は、前年度に比べどのような結果ですか。

A 【亀山 住民課長】
 現年課税分は、調定額8億8,857万円に対し、収入済額は8億8,100万円で収納率は99.2%となりました。前年度との比較では、調定、収入済額ともに4.7%増で、収納率は前年度と同率となりました。滞納繰越分を合わせた調定額は9億1,789万円で、収入済額は8億8,610万円となり、収納率は96.5%となりました。

令和2年度はコロナ禍の影響を懸念していましたが、町税全体の収納率は前年度を0.2ポイント上回る結果となりました。

Q 納税の猶予については、何件申請があり、合計額はどれほどですか。

A 【亀山 住民課長】
 納税の猶予制度について令和2年度は、コロナの影響で事業者の収入が前年比20%以上減少し、一時に納税が困難と認められる場合に無担保かつ延滞

金なしで最長1年間適用できる特例が設けられました。この特例制度には、1法人、2個人事業主から5件の申請があり、個人町民税、法人町民税、固定資産税で計149万円程を適用しました。

また、国民健康保険税では、猶予特例の申請はありませんでしたが、減免措置に4件の申請があり、令和元年度及び2年度課税分で計70万円程を減額しました。

Q 町の貴重な財源確保について、公平性を欠くことなく円滑に収納していくための担当課長の納税と収納についての考えは。

A 【亀山 住民課長】

町税は、町民の皆さまが健やかで快適な生活を送ることができるよう、まちが様々な行政サービスを提供する上で最も大切な財源となっています。

その財源確保にあたり、まず私たち職員が、町民の皆さまに町税の仕組みなどを分かり易くお伝えし、ご理解いただくことが先決であると考えます。こうした税務行政全般にわたる信頼を確保し、税負担の公平性の確保も含め、適正な税務事務の執行に努めていきたいと考えています。

Q 超高齢化社会が進む中、町では、65歳以上の二人の高齢者世帯数が現在280戸、75歳以上の世帯は75戸、75歳以上の独居高齢者80人が在住していると聞いています。町の下水道管理規程によれば、下水道の宅内配管は、居住者の責任において適正な管理を行うとしています。しかし、年齢的な体力の低下、病的なことなどから汚水柵の清掃が困難とのことで、この1年間に75歳以上の方から社会福祉協議会へ炊事場から出る排水を受ける汚水柵の清掃作業と点検の依頼が数件ありました。

依頼作業を行った社会福祉協議会の生活支援ボランティアの方の話では、「専門業者に依頼すればかなりの経費がかかる」とのことでした。

町は、使用者には月1、2回程度の汚水柵の清掃をお願いしているとのことですが、一般家庭ではどの程度の清掃が行われているのか。町では、「住みやすい福祉に充実したまちづくり」を目指しているとのこと、先行してその体制づくりができないか、行政サービス向上はできないかをお尋ねします。

A 【川崎 福祉保健課長】

下水道の汚水（分離）柵の清掃は、担当課である建設課から定期的な清掃を使用者の方をお願いしているところです。

各ご家庭での清掃頻度は、調査を行っていないため把握していませんが、毎月から年1回程度など汚れの状態により様々であると思われます。

分離柵に固形物が付着すると独居高齢者の方などは清掃が困難となる場合がありますが、生活上の困り事を支援するため、町社会福祉協議会において、地域ボランティアの協力により「くらしのサポーター事業」を実施しています。

年間に数件の実績ですが、介護サービスなど公的サービスでは対応できない困り事について支援を行っているところであり、地域福祉サービスの制度として対応できているものと考えています。

また、行政サービスの制度化という点では、下水道施設の使用者の管理責任の趣旨からすると、町の行政サービスとして実施する汚水柵の清掃は、困難なものと考えています。まずは、下水道部局とも連携して、分離柵の清掃方法や対処方法について、高齢者世帯への周知を行うことで対処したいと思えます。

一問一答 森林整備事業について

山田 直行 議員



Q 自然災害への備えとして、森林整備はどれくらいの予算規模でどの様な考え方で対応されますか。所有者負担や所有者不明の場合はどの様になりますか。

A 【足立 産業環境課長】

今年度から自治会へ依頼した森林整備の要望調査は、地域の要望箇所を把握することで、危険木の除去や緩衝帯整備など、きめ細かな地域の森林整備を推進するために行うものです。事業は、岐阜県里山林整備事業補助金を活用して行い、予算規模は、年度毎に変動しますが、昨年度までは年間1,000万円程で実施しています。所有者の事業費負担はなく、所有者不明の場合は、できる範囲で調査を行い、不明の部分は事業を見合わせるようになります。

Q 栃洞地区の小さな公園など、全体に町所有の公園の木の剪定など、管理が充分でないようですが。

A

【川合 教育課長】

町内の公園の樹木は、担当者による月1回の点検時に確認し、周辺の道路や隣接地に支障がある場合、業者に委託するなどして伐採や枝払いの対応をしていますが、予算的なこともあり全てに対応することは難しく、緊急性の高いものを優先して行っています。

Q

今後、町所有の公園には、大きくなる木の植え付けは、管理経費を考え、止めたほうが良いと思いますが。

A

【川合 教育課長】

景観や環境の面から、適度な植栽は必要であると考えていますが、後々の管理や安全面等を十分に考慮し、必要な場所に適切な数、樹木の種類等はよく検討の上、植栽を行っていくことが大切であるとえています。

一問一答 河川環境整備について

山田 直行 議員

Q 津保川、川浦川沿いの桜の木の植えられた時期、管理は誰が担っているかお尋ねします。また、仮に町が管理しなければならない場合、どのような考えで対応されますか。

A 【澤野 建設課長】

河川沿いの多くの桜は、植えられた年代に違いがあると思いますが、河川公園「とみばーく」北側にある桜は、30～40年ほど前であると聞いています。管理は、植えられた団体などで、例年、毛虫の防除や樹木下の草刈りなどが行われているようです。

また、植えられた方々には、適正な管理をしていただきたいと思いますが、所有者や管理者が不明で危険が伴うなど緊急を要する場合には、河川管理者である県と協議の上、町において伐採や処分等を行うことになるかと考えています。



「とみばーく」北側の桜並木

Q 加治田地区の川浦川では、昭和43年の8.17の水害の被害により河川整備がなされていますが、今では、特に絹丸橋から加治田住宅までの間は、太い木や法面の崩れそうなところもあり、水害に対しては危険であると思われます。地域環境整備・美化のため、是非とも早く伐採という考えの下、動いて頂きたいと思いますがいかがですか。

A

【澤野 建設課長】

河川の流れを妨げたり、周辺の住環境へ支障となる場合などは、昨年までも、河川管理者である県へ随時連絡し、伐採等の措置をお願いしています。一昨年には、川浦川に架かる絹丸橋の上流右岸で樹木の伐採が実施されていますが、新たな箇所がありましたら、具体的にお知らせ頂けるとありがたいと思います。

Q

町民の皆様にも、土地・山等の不動産の適正管理について広報などを通じて啓発や具体的な管理方法を示してほしいと思いますがいかがですか。

A

【澤野 建設課長】

広報やホームページで啓発することも良い方法であると思いますが、事案ごとに内容が違いますので、その都度、当事者に具体的な対策を取っていただくようご理解を求める方法もあるのではないかと考えています。

本来、樹木等の不動産は、所有者の責任の範囲で適正な管理に努めていただくべきものであると理解していますが、地域においてもお困りの際は、情報提供をいただくなどのご協力をお願いしたいと思います。



Q 町長は、令和2年の町長選挙当選時に「人口1万人の町」の目標を公表されましたが、今も決意は変わりませんか。

A **【板津 町長】**
私は、昨年の選挙に出馬するにあたり、過去2期8年間の町政への審判を仰ぐ重要な機会であると考え、町民の皆様には「富加町の現状と将来像について」と称して訴えてきたところです。具体的には、人口増加対策を政策の中心に据え、町政全般(行財政改革、福祉政策、教育政策、産業振興政策、インフラ整備、災害対策等)を進めていくことが、町の健全で調和のとれた発展に必要不可欠なことであると考えています。

この思いは現在も変わっておらず、人口増加に向けた諸施策を今まで以上に実行していくことが私に課せられた使命であると改めて認識しています。

Q 各課に人口1万人目標の取り組みについてお聞きします。まず、都市計画を所管している建設課長にお伺いします。

A **【澤野 建設課長】**
建設課所管の取り組みでは、川浦川左岸線道路新設事業や河川公園整備事業、水道配水管路の耐震化や地籍調査事業などの事業を継続的に実施しています。事業一つ一つが移住・定住の促進につながる施策であると理解して取り組んでいます。

町都市計画マスタープランでは、人口1万人は、想定しておらず、20年後の将来人口を5,100人としています。これは、町の人口ビジョンが目標とする人口と整合性を図る視点から、同じ数値としているものです。

Q 産業は特に人口増に影響があります。産業環境課長にお伺いします。

A **【足立 産業環境課長】**
産業関係の取り組みでは、農業部門では国や県の補助金を活用して、新規就農者の設備投資や経営面の支援を行っています。最近のいちご新規就農者4人は全て、他市町から家族ぐるみで転入された方です。林業部門では、林業就業移住支援事業補助金を今年度から創設し、移住される方を募集しています。工業部門では、町企業振興奨励金制度を活用し、過去3年間に2社が企業立地され、町内で25人の雇用が確保されました。サービス業関連では、創業支援事業補助金制度をこの4月から施行し、商工事業者の起業等を支援しています。

また、観光振興として、町民まつりでの町のPRや、道の駅拡充基本構想により、将来の運営について民間活力導入の可能性を調査していきます。

Q 総合計画・総合戦略を所管する総務課長にお伺いします。

A **【福田 総務課長】**
平成28年度から始まった町総合計画では、

町の将来像を「JUSTomika Life みんなで創る誰もが住みよい ちょうどいいまち とみか」と定め、取り組んできました。

また、総合戦略の策定と同時に、人口の将来展望を示す人口ビジョンも策定したところです。この計画期間中には、町有地17区画を分譲し、町内に住宅を新築された方への奨励金139件を交付しています。

いずれも住みやすいまちづくりを目指した人口増につながる取り組みであると考えています。

Q 学校教育・社会教育の分野から教育長にお伺いします。

A **【粥川 教育長】**
学校教育では、小学校での「ふるさと教育」に力を入れています。子どもたちには、町の魅力について誇りを持って語れるよう、教育委員会の文化財専門官が学校に出向き、半布里戸籍や堂洞合戦などの出前講座を行っています。中学校は美濃加茂市と本町の生徒が半々で、それぞれのふるさとを再発見するような校外学習も行います。

また、社会教育分野では、半布里コミッティーなどの自主団体の活動支援や、コロナ対策のためオンライン講座が開催できる環境整備などを行っています。

このような活動や町の魅力を内外に発信することが移住・定住につながるものと考えています。

Q 総合的に参事にお伺いします。

A **【足立 参事】**
人口増加対策は、定住の促進・子育て環境の充実・町職員の共通認識が大切であり、大変長い期間を必要とするものと考えています。幸いに本町は、立地に恵まれており、隣接する2つの市の郊外地的な立ち位置であることを念頭に、生活環境整備を着実に継続していくことが重要と考えています。

Q 町長にお尋ねします。人口が1万人になると何がどう変わりますか。

A **【板津 町長】**
今の本町より、もっと住みよいちょうどいい町(JUSTomika Life ジャストミカライフ)になることを固く信じています。我々が次世代に渡すべきことは、将来に対する「不安」ではなく、「夢と希望」であると考え、今以上に「ちょうどいいまち 富加町」にするため全力を尽くしていきますので、ご協力をお願いします。



まちの目指す将来像「JUSTomika Life」

Q 住民課は、税の滞納への対応が一番大きな問題と思いますが、決意と抱負をお聞きます。

A 【亀山 住民課長】

町税は、まちが行政サービスを提供し、町民の誰もが、平等で十分な行政サービスを受けるための大切な財源です。職員は、徴税吏員としてのスキルを高め、滞納のある方には毅然とした姿勢で積極的に滞納整理を行い、大多数の納税者の方々の公平性を意識しながら、滞納額の減少に努めていきます。

また、近年、コンビニ収納やキャッシュレス決済を導入し、納税の利便性を図り、収納率の向上に努めているところであり、今後は、徴収嘱託員の雇用や民間債権回収のノウハウの活用なども研究していきたいと考えています。

Q 福祉保健課は、新型コロナワクチン接種及び2025年問題、高齢化が大きな問題と思いますが、考えをお聞きます。

A 【川崎 福祉保健課長】

初めに新型コロナワクチン接種ですが、医療機関や臨時の看護師の協力をいただき、計画どおり進められていること、町民の皆様のご協力に、感謝申し上げます。

今後は、64歳以下の方の一般接種に移行していき

ますが、職域接種も始まることとなり、町民の方の混乱を招かないよう情報提供を行いながら、早期の接種完了に努めていきますので、ご理解とご協力をお願いします。

団塊の世代が75歳を迎え、後期高齢者となる2025年、高齢化の問題ですが、医療や看護、保険、介護などへ深刻な影響を及ぼすことが懸念されています。全体的な考えとしては、国が提唱する「地域包括ケアシステム」の体制整備とその実現に向けた施策を着実に進め、高齢者の方が住み慣れた地域で自立した生活が送られるよう、保健、医療、介護、福祉の各分野が連携し、個々のニーズに応じたサービス提供や地域での支え合い活動の体制の強化に取り組んでいきたいと考えています。

Q 教育課は、GIGAスクール構想の早期の活用が期待されますが、考えをお聞きます。

A 【川合 教育課長】

GIGA スクールの実施状況は、昨年度に整備したタブレット端末の校内での利用から、家庭と学校間のオンライン授業の実施に向けて準備をしているところです。今後は、校内での学習面の利用と、オンライン授業の実施体制を構築していき、コロナの影響による休校等があった場合でも円滑に運用できるようにしていきたいと考えています。



Q 公園樹木は、憩いや景観、育成が優先され、落ち葉などの迷惑は置きりとなっています。公園樹木の伐採や剪定の管理基準が必要と考えますが、見解は。

A 【川合 教育課長】

公園樹木の管理基準は、現在も設けてはいません。管理基準があると良いと思いますが、各公園はそれぞれ場所も環境も異なるため、一律に基準を設定することは難しく、定期的な見回りや住民の方からの情報提供等により、伐採や枝払いなどの管理を行っています。

Q ゆうあい環境公園の樹木への苦情の対応は。

A 【川合 教育課長】

ゆうあい環境公園の樹木は、かなり大き

くなっているものがあることは認識しています。現在、枝が隣接する民家や道路、畑等にはみだしている箇所があるため、今年度予算の範囲内で一部樹木を伐採し、枝払い等を行う予定です。

落ち葉については、近隣の方には大変ご迷惑をおかけしているため、今後は定期的に処理をしていく必要があると考えています。また、年1回ですが毎年11月下旬に公民館利用団体による奉仕作業としての公民館清掃事業で、参加者の方に落ち葉の処分をしていただいております。

今後は、当公園をはじめ、各公園において大きくなりすぎた樹木の伐採、枝払い等を計画的に実施していきたいと考えています。



「ゆうあい環境公園」のようす

Q カーボンニュートラルの施策はありますか。

A **【足立 産業環境課長】**

町第5次総合計画では、「低炭素社会実現に向けた取り組みの推進」として、地球温暖化など環境問題改善の取り組みを掲げており、これは「2050年カーボンニュートラル」に関連する取り組みであると認識しています。

現在、町では、家庭ごみ減量化のための広報・ホームページでの啓発活動や、住宅用新エネルギーシステムやごみ処理機を導入された方へ補助金を交付しています。また、役場内ではエコチャレンジプランとして、庁舎などの電気や公用車燃料の使用量削減に努め、小中学校においては、環境教育の授業が行われていると認識しています。

今後、国で「グリーン成長戦略」実行計画により、重要産業分野での更なる方策が検討されますが、その中で町で取り組める施策を今後の施策に反映していくことが重要であると認識しています。

Q 薪ストーブの推進と里山の復活活動が有効ではないですか。

A **【足立 産業環境課長】**

薪ストーブは木を燃料とし化石燃料を使わないため省エネに役立ち、併せて間伐材などの木材を燃料に利用するスキームは、森林資源の有効活用につながります。さらには、燃料となる木材を町内の里山で調達し、里山整備が進めば住民意識の向上にもつながり、低炭素社会構築のために一定の効果はあると考えられますが、ストーブ本体と設置の費用が高価であることや、里山からの薪の調達方法が安易でないなどの理由から、家庭で導入される頻度が未知数ではないかと思えます。

今後、他市町村の事例を情報収集し検証したうえで、補助金の創設の可能性を検討していきたいと思えます。



Q タブレットは活用されだしましたか。今年度の活用計画は。

A **【川合 教育課長】**

昨年度に整備したタブレット端末については、富加小学校では、児童に端末の基本的な取り扱いとログインなどの練習を行い、特に低学年では、文字の入力方法、中学年、高学年では、絵や写真の保存、データの管理などの操作を行っているところです。先生方に対しては、各端末に導入した学習ソフト、授業支援ソフト、双方向通信ソフトについて、導入業者による研修を実施したところです。

今年度の計画は、校内での学習面の利用と家庭と学校間のオンライン授業の実施体制を構築することとしています。

Q ランニングコストの費用と、修理代は誰が負担しますか。

A **【川合 教育課長】**

GIGAスクール事業にかかるランニングコストは、毎月5万円程度のネットワーク使用料と破損や故障時の修理費用があると考えています。ま

た、今後は、端末の更新費用が、発生するものと考えています。

端末の修理代は、町では「タブレット端末活用のルール」を定め、そのルールが守られていない場合に発生した修理費用、家庭に持ち帰った際の紛失、学習目的以外の利用等により発生した費用は、保護者負担としています。その他、故意による破損の場合も保護者の負担としています。落下のような不慮の事故については、町負担になるものと考えています。

Q オンライン授業の準備、運用基準の整備状況は。

A **【川合 教育課長】**

オンライン授業の準備として、今後、児童が端末を家庭に持ち帰り、学校との通信テストを行う予定で、通信環境が整っていない家庭については無償でwi-fiルーターを貸与するよう準備を進めています。

また、端末の貸与について、「富加町立小学校学習者用タブレット端末貸与規程」を令和3年3月に制定し、「タブレット端末活用のルール」などを定めるところです。

議会活動 4月～6月

4月

- 16日 町シニアクラブ連合会総会
- 21日 例月出納検査
- 22日 戦没者追悼式
議員全員協議会

5月

- 10日 議会運営委員会
- 12日 第3回臨時会
- 14日 可茂町村議会議長会
- 19日 町奨学生選考委員会
- 20日 例月出納検査

6月

- 1日 県町村議会議長会
- 2日 議会運営委員会
- 9日 第4回定例会（～17日）
議員全員協議会
- 11日 総務産業建設常任委員会
- 15日 文教厚生常任委員会
- 16日 議員全員協議会
- 22日 例月出納検査
- 25日 令和2年度町公営企業会計（水道・下水道）決算審査
- 28日 可茂土木事務所との行政懇談会
- 29日 町空家等対策協議会



編集後記



令和3年第4回定例会は、新型コロナウイルス第4波の中、岐阜県はまん延防止等重点措置が発令中の中での定例会でした。また、渡邊新議長になって初めての定例会でもありました。例年ですと6月議会は大きな議案がない定例会でしたが、今定例会はやはり新型コロナウイルス関係と、道の駅拡充整備に伴う官民連携手法の実現性調査が大きな議案で、積極的な議論で協議しました。結果の評価は色々なご意見があろうかと思えます。ご意見をお寄せください。

定例会が終わり、この議会日より編集後記に取り掛かったころ、県内の感染者が1桁になり、まん延防止等重点措置が解除になりました。しかしながら、少しも喜びを感じません。新聞・TV等では、第5波の危険性がオリンピック・パラリンピックへ及ぼす影響が報道され、またコロナワクチン接種も考えていた以上に遅くなっており、不安が募るばかりです。今私たちがやるべきことは、手洗い・マスクの着用・3密の防止・不要不急の外出の自粛という、最初からの基本を守る事しかありません。今は我慢があつての安全安心しかありません。皆さん一緒に頑張りましょう。

（文責 梅村 登次）

議会広報委員会
委員／梅村登次・木村康夫

傍聴者の声

6月定例会の最終日を1人の方が傍聴されました。貴重なご意見ご感想、ありがとうございました。

＼町民のみなさん／

町議会を傍聴してみませんか？

本会議当日は、役場1階ロビーでライブ中継を視聴できます。

次回定例会は9月に開催

詳しくは、議会事務局までお問い合わせください。



富加町マスコットキャラクター とみぼん

いま もっと、まちのこと

これが知りたい!!

接種費用
無料
(全額公費)



新型コロナウイルス感染症対策 ワクチン接種の 状況は？

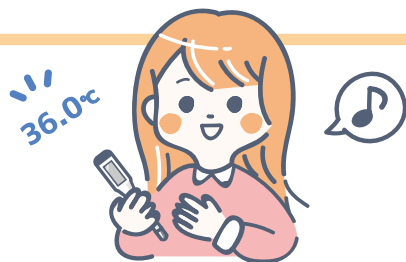


日々繰り返される国の緊急事態宣言や、県の非常事態宣言の発令、解除。なかなか終息が見えない状況ですが、少しでも新型コロナウイルスの感染拡大を防ぐため、町でも医療関係者の皆様のご協力を得て、ワクチンの集団接種が進められています。接種の状況について町の担当者に聞きました。

Q1 現在の接種状況は。

町では、5月8日より高齢者施設の入所者の方から接種を始め、現在は原則、水・木・土曜日に保健センター（役場東）で高齢者の方から順に集団接種を行っています。

7月12日現在、町全体で1回目を接種済みの方が1,890人（約37%）で、さらにこのうち2回目も接種済みの方が991人（約19%）となっています。



Q2 接種で注意することはありますか。

接種前に体温を確認するなど、ご自身の体調にあわせて接種をお願いします。接種後、倦怠感や発熱の症状などの副反応が出ており、特に2回目の接種後に強く副反応が出ることもあります。

Q3 今後の予定は。その他お知らせはありますか。

高齢者の方に続き、12歳～64歳の方への接種を行ってまいります。ワクチン接種の予約は年代ごとに順次行う予定です。対象となる方には、予約や接種の日時、予約方法を改めてご案内（通知）しますのでご確認をお願いします。

町福祉保健課
保健係（保健師）

かなもり まさこ
金森 雅子 さん



新型コロナウイルス接種に関するお問い合わせは

TEL0574-54-2117（直通）

富加町議会だより

とみかのぎかい

2021.7.25
No.182

編集／議会広報委員会 発行／岐阜県富加町議会

富加町議会 議会事務局

〒501-3392 岐阜県加茂郡富加町滝田1511
TEL 0574-54-2161 FAX 0574-54-2461

URL <https://www.town.tomika.gifu.jp/chosei/gikai/>

